

スル一種ノ足掛リニ言及セル處松岡總裁ハ右ハ初耳ナル
カ結構ナリト述ヘ居タリ

四、滿鐵ト外務省トノ連絡問題

本問題ニ付テハ過般大連ニ於ケル會談ニ際シテモ意見ノ
交換アリタル次第ナルカ今後斯種外交ニ關係アル問題ニ
關シ外務、滿鐵間ニ意見交換ヲナスノ要アル場合ニハ双
方ノ責任アル者(例ヘハ滿鐵側ニテハ總裁及總裁ノ指示
スル理事又ハ社員、尙松岡總裁ハ右理事又ハ社員トハ山
崎、石本、牛島及東京支社岡田邊リヲ考ヘ居ル次第ナル
モ機微ノコトハ當分ノ間成ル可ク直接總裁ト話サレ度ト
云ヘリ)ノミノ間ニ連絡スヘク又右連絡ハ出來得ル限り
密接ニ行フコトニ打合セタリ

本信宛先 支、北平、南京、天津、青島

481 昭和10年12月24日 在青島田尻總領事代理より
広田外務大臣宛(電報)

膠濟鐵道國庫証券償還金の中國側調達は幣制
改革の進捗に鑑み困難ではないとの観測報告

青島 12月24日後発
本省 12月24日夜着

第二六八號(極秘)

貴電第一三三三號ニ關シ(膠濟鐵路局積立金ノ圓預金問題)

一、鐵路局側ノ金圓預金方針ニ變更無ク十一日及十九日滿期
ノ分ハ全額、廿九日ノ分ノ一部モ既ニ日金購入済、正金
ノ預入高十八日現在五十一萬餘圓他ハ中國、中央、金城
ニ預入セル由(委細郵報)

二、今後ノ方針ニ付テハ近ク葛委員長赴寧ノ際協議ヲ爲スコ
トナルヘキ見込ノ由

三、今次ノ幣制改革カ假令北支ヲ除外シテモ曲リナリニ持續
スルモノトセハ南京政府ニ於テ三銀行ニ命シ四千萬圓ノ
返済金ヲ調達セシムルハ敢テ難事ニアラサルヘク此ノ點
今後ノ膠濟鐵道政策研究ノ際考慮ノ要アリト思考ス御氣
附ノコトト存スルモ爲念

(轉電先脱)

日 本 外 交 文 書
昭和期Ⅱ第一部第四卷上
(昭和十年対中国關係)
不 許 複 製

Documents on
Japanese Foreign Policy
Showa Era, Series II Part 1
Volume 4 (1935) Part 1

平成十八年三月十七日印刷
平成十八年三月三十日発行

外務省 編纂

外務省 発行

印刷所
東京都板橋区高島平
九一三十七
株式会社 三陽社